



TOYOTA BOSHOKU

東証プライム 証券コード 3116

2022年度（2023年3月期）

期末 決算説明会

開催日：2023年4月27日

目次

1. 2022年度 決算状況
2. 2023年度 通期業績予想
3. 参考情報

目次

1. 2022年度 決算状況

2. 2023年度 通期業績予想

3. 参考情報

- ◆本日は、お忙しい中、
当社の2022年度 期末決算説明会にご出席いただきまして、ありがとうございます。
- ◆はじめに、2022年度期末の決算状況、
続いて、2023年度通期の業績予想をご説明いたします。
- ◆それでは、2022年度期末の決算状況について
ご説明いたします。

1-1) 2022年度 決算状況 連結決算概要

(億円)

| | 21年度 実績 | | 22年度 実績 | | 増減 | |
|-------|------------|--------|------------|--------|--------|--------|
| 売上収益 | 14,214 | 100.0% | 16,040 | 100.0% | 1,825 | 12.8% |
| 営業利益 | 602 | 4.2% | 476 | 3.0% | △126 | △20.9% |
| 税引前利益 | 645 | 4.5% | 522 | 3.3% | △122 | △19.0% |
| 当期利益* | 392 | 2.8% | 146 | 0.9% | ※ △245 | △62.6% |

*親会社の所有者に帰属する当期利益

※繰延税金資産取崩の影響△101含む

| | | | | |
|-----------|------|---------|--------|-------|
| 1株当たり当期利益 | | 210円15銭 | 78円57銭 | |
| 為替レート | USドル | 112円 | 135円 | + 23円 |
| | 1-円 | 131円 | 141円 | + 10円 |

売上収益

グローバルでの増産や為替影響などにより増収

営業利益

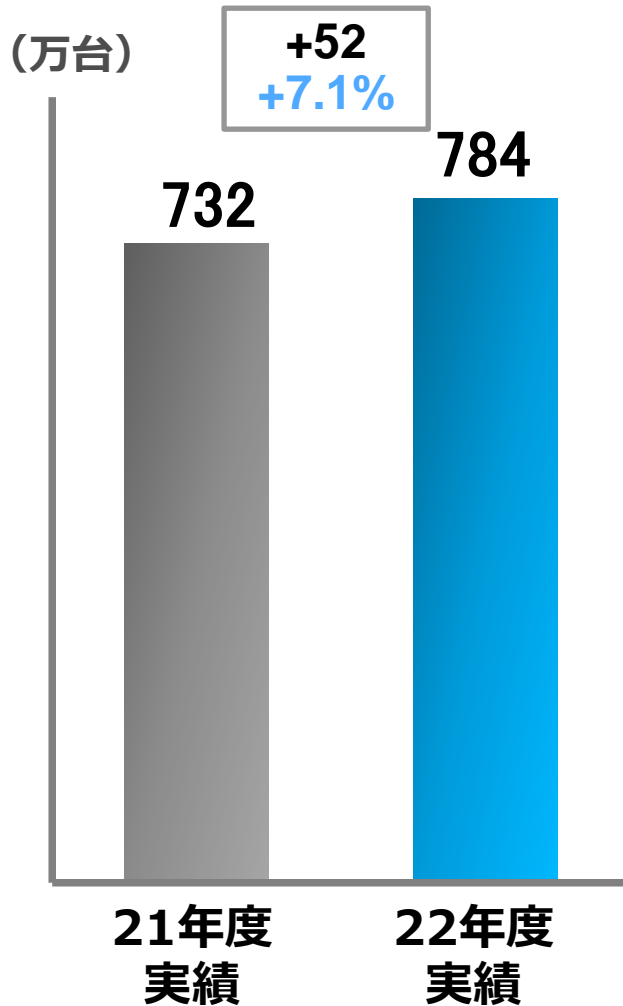
増産効果はあるものの、車種構成の悪化や諸経費の増加に加え、ロシア事業終了に伴う費用の計上などにより減益

スクリプト

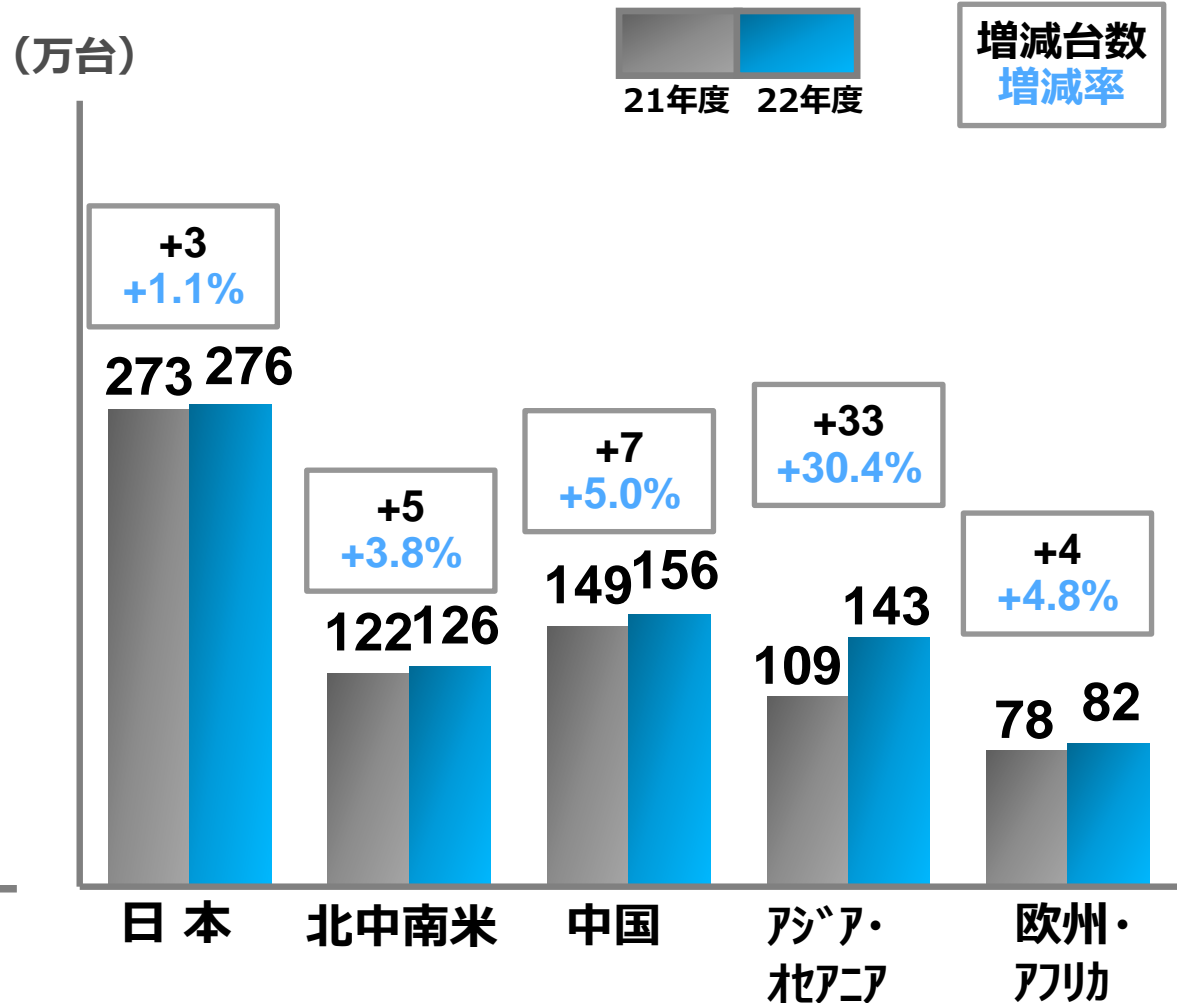
- ◆ 売上収益は、前期比1,825億円増加の1兆6,040億円。
- ◆ 営業利益は、前期比126億円減益の476億円となりました。
- ◆ 税引前利益は、前期比122億円減益の522億円。
- ◆ 親会社の所有者に帰属する当期利益は、前期比245億円減益の146億円となりました。
- ◆ 為替レートは、1ドル135円、1ユーロ141円でございます。
なお、前年同期からの為替影響につきましては、売上収益でプラス1,057億円、営業利益でプラス71億円増加する方向に効いております。

1-2) 2022年度 決算状況 地域別シート生産台数

連結全体



セグメント別



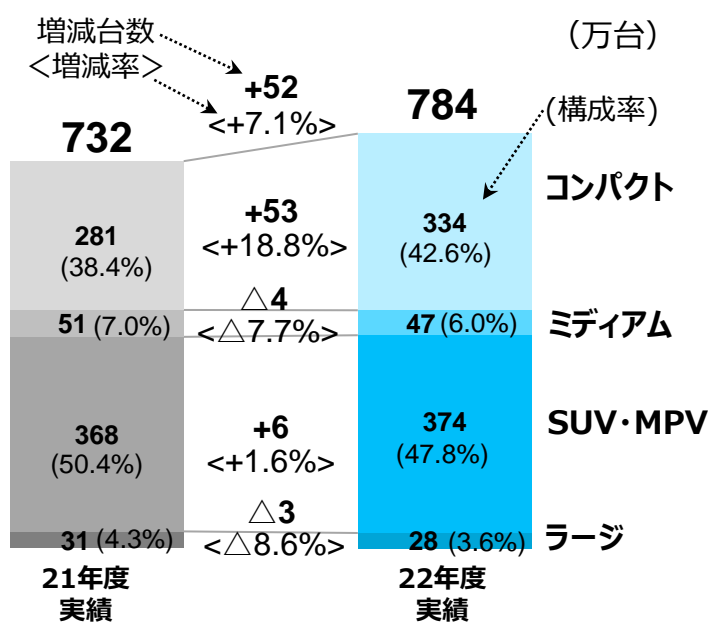
スクリプト

- ◆ 続きまして、私どもの主力製品であるシートの生産台数ですが、連結全体では、前期比52万台増加の784万台となりました。
- ◆ 地域別は、ご覧の通りとなっておりますが、詳細は、地域別のページにてご説明いたします。

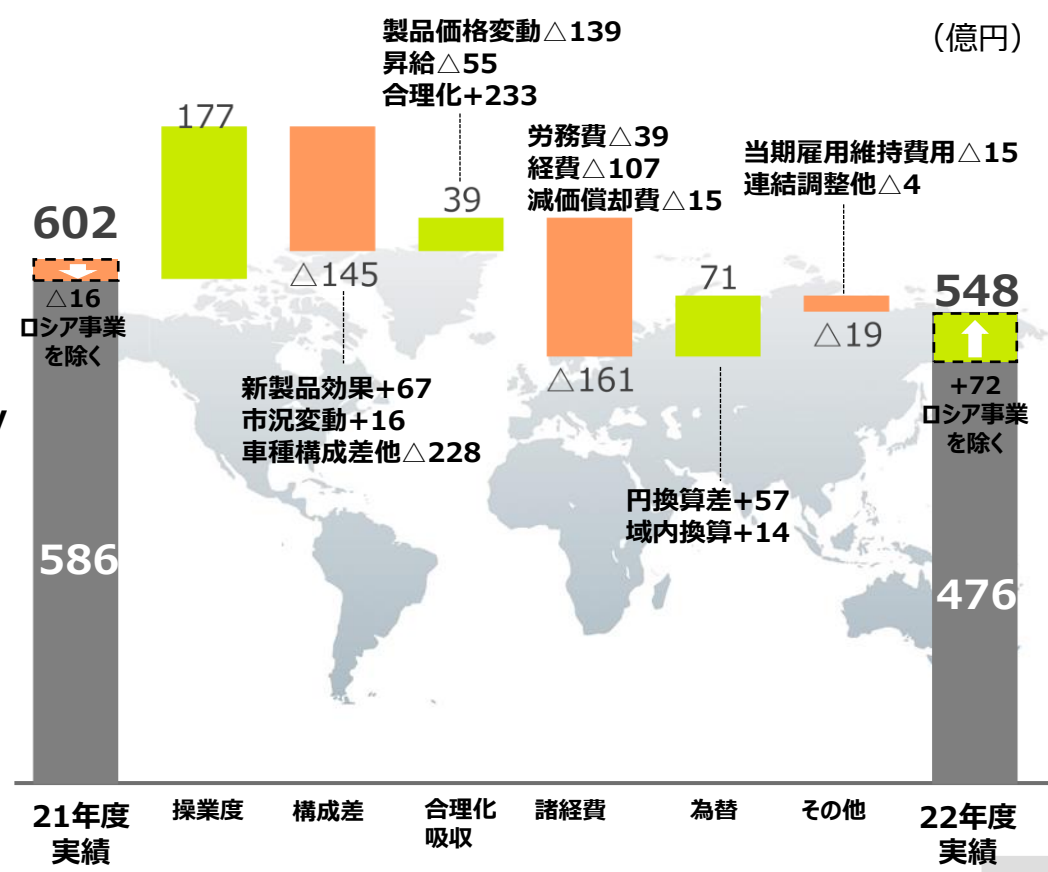
1-3) 2022年度 決算状況 連結 売上収益・営業利益

増産効果はあるものの、車種構成の悪化や諸経費の増加に加え、ロシア事業終了に伴う費用の計上などにより減益

台数・車種構成の変化



営業利益の増減解析 (前期比)



当期の経営成績

| | 21年度実績 | 22年度実績 | 増減 |
|-------|--------|--------|-------|
| 売上収益 | 14,214 | 16,040 | 1,825 |
| 営業利益 | 602 | 476 | △ 126 |
| 営業利益率 | 4.2% | 3.0% | - |

スクリプト

- ◆次に、連結の業績についてご説明いたします。
- ◆台数ですが、前期比52万台増加の784万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比1,825億円増加の1兆6,040億円。
- ◆営業利益は、
グローバルでの増産効果はありますが、車種構成の悪化や
諸経費の増加に加え、ロシア事業終了に伴う費用の計上などにより
126億円減益の476億円となりました。

1-3) 2022年度 決算状況 前回公表時との比較

営業利益 増減分析

(億円)

| | 前回公表時 | 22年度 実績 | 計 | 増 減 | |
|-------|-----------------------------|------------|-----|------|------|
| | | | | 社内努力 | 環境変化 |
| 21年度 | 602 | 602 | +0 | | |
| 操業度 | 190 | 177 | △13 | | △13 |
| 構成差 | △168 | △145 | +23 | +40 | △17 |
| 合理化吸収 | 35 | 39 | +4 | +4 | |
| * 諸経費 | △153 | △161 | △8 | △8 | |
| 為替 | 69 | 71 | +2 | | +2 |
| * その他 | ()内 ロシア影響 (△92) △145 | (△88) △107 | +38 | +14 | +24 |
| 22年度 | 430 | 476 | +46 | +50 | △4 |

*前回諸経費に含めていたアルゼンチンでのインフレ影響をその他に集約

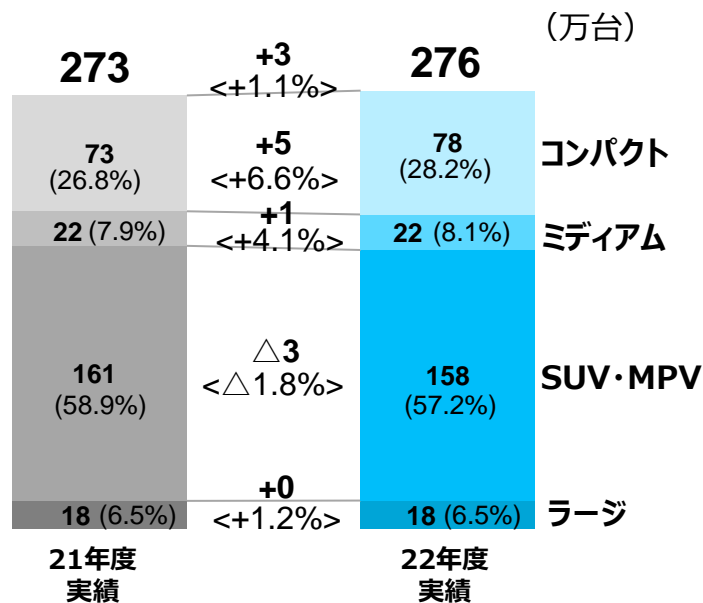
スクリプト

- ◆次に、前回公表時との比較についてご説明いたします。
- ◆日本や欧州での減産など環境変化による減益影響はありましたが、市況高騰影響の縮小や型費回収増加などの営業努力に加え、ロシア事業終了に伴う費用の縮小などを含めた社内努力により、前回公表時から増益となりました。

1-3) 2022年度 決算状況 日本 売上収益・営業利益

車種内グレードMixの悪化や諸経費の増加などの減益はあるものの、
移転価格税制調整金の影響により増益

台数・車種構成の変化



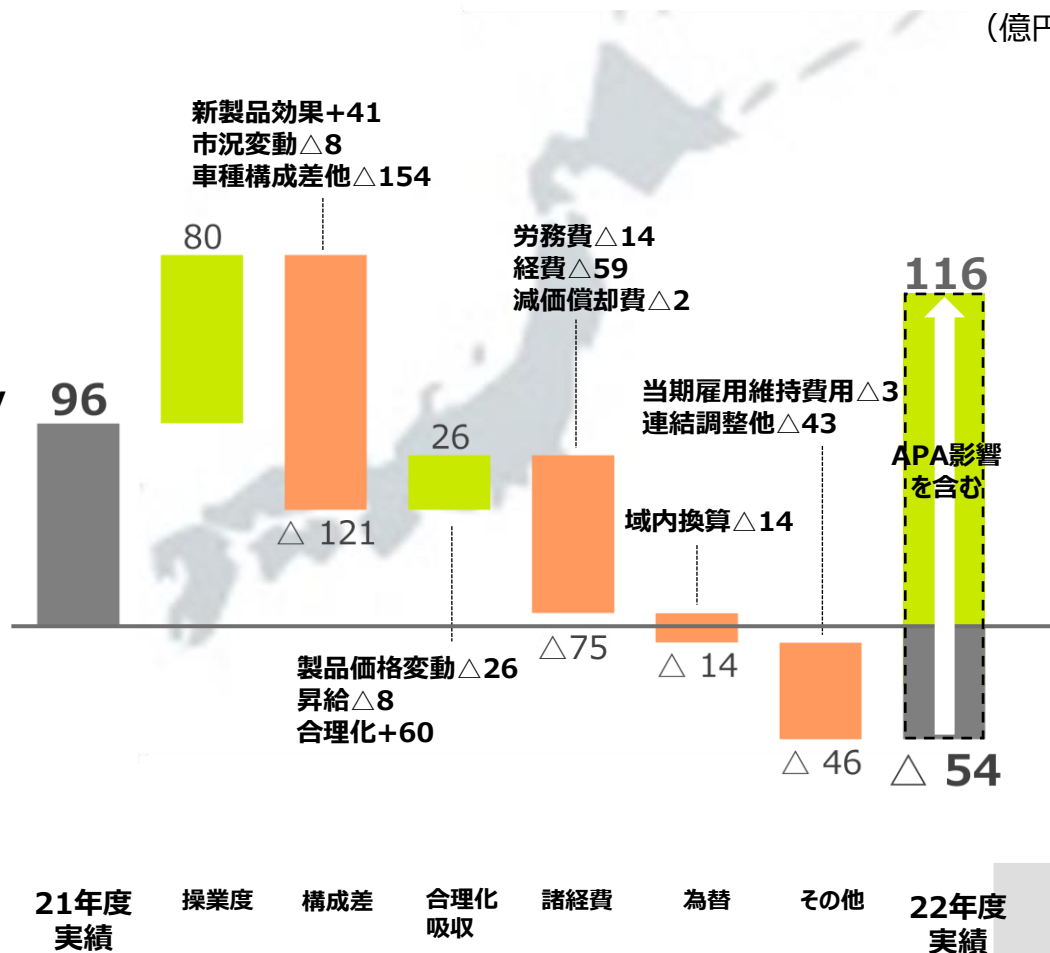
当期の経営成績

(億円)

| | 21年度実績 | 22年度実績 | 増減 |
|-------|--------|--------|-----|
| 売上収益 | 7,006 | 7,329 | 322 |
| 営業利益 | 96 | 116 | 20 |
| 営業利益率 | 1.4% | 1.6% | - |

営業利益の増減解析 (前期比)

(億円)



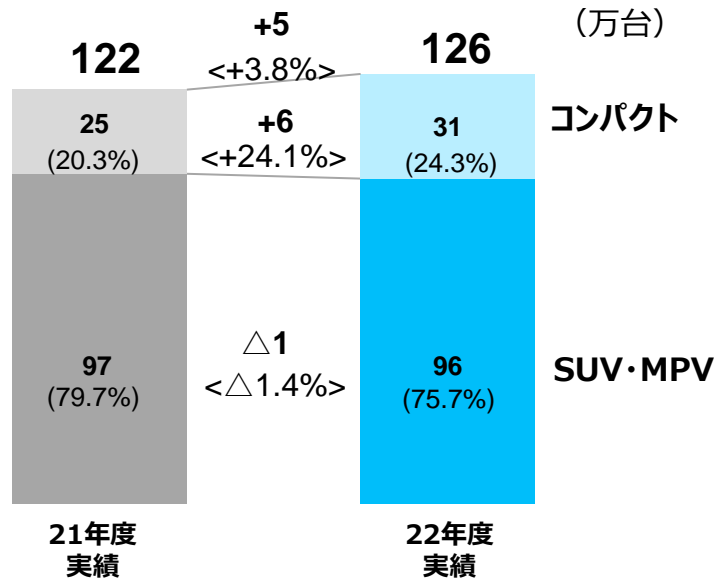
スクリプト

- ◆次に、日本ですが、
- ◆台数は、前期比3万台増加の276万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比322億円増加の7,329億円。
- ◆営業利益は、前期比20億円増加の116億円となりました。
- ◆ただし、当期は移転価格税制調整金の影響がございましたので、それを除いた営業損失54億円と比較しますと、車種内グレードMixの悪化や諸経費の増加などにより、減益となりました。

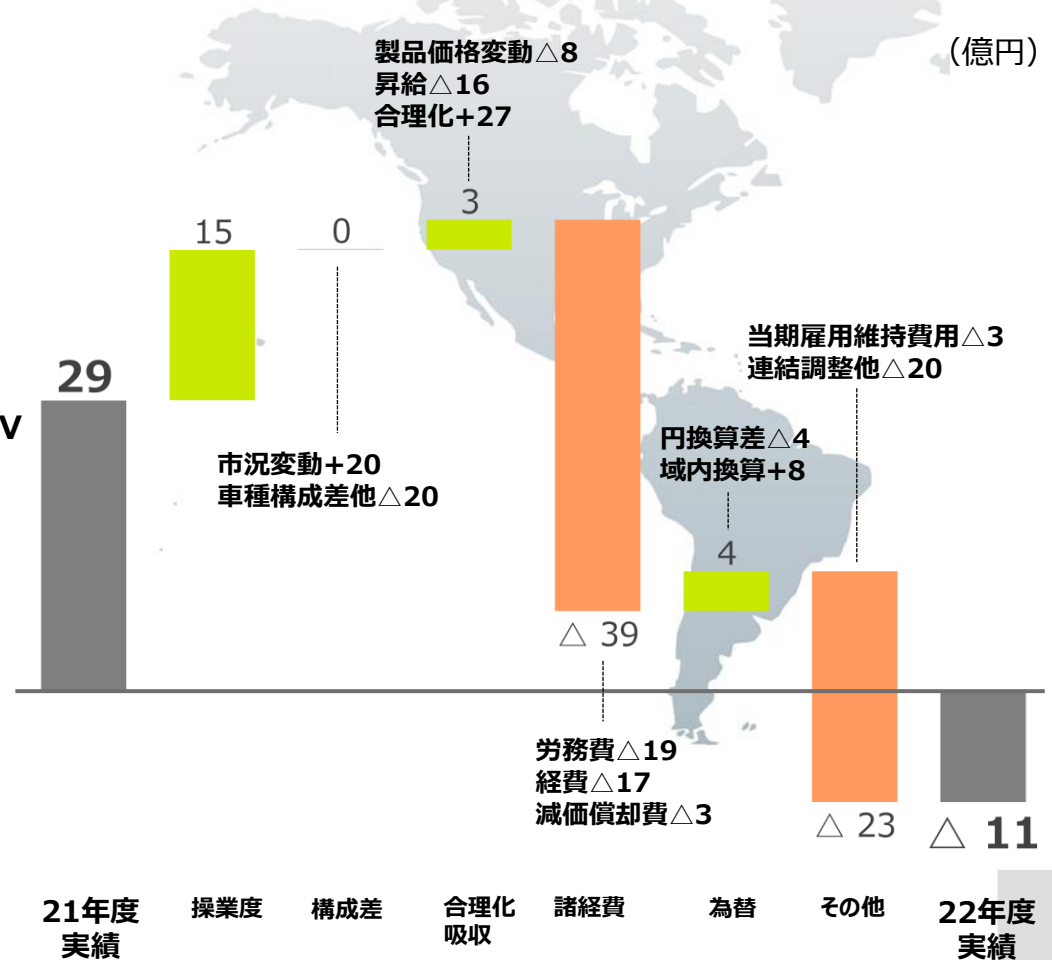
1-3) 2022年度 決算状況 北中南米 売上収益・営業利益

増産効果や昨年度インフレ影響の客先回収はあるものの、モデルチェンジや新車種立ち上がりに伴う諸経費の増加などにより減益

台数・車種構成の変化



営業利益の増減解析 (前期比)



当期の経営成績

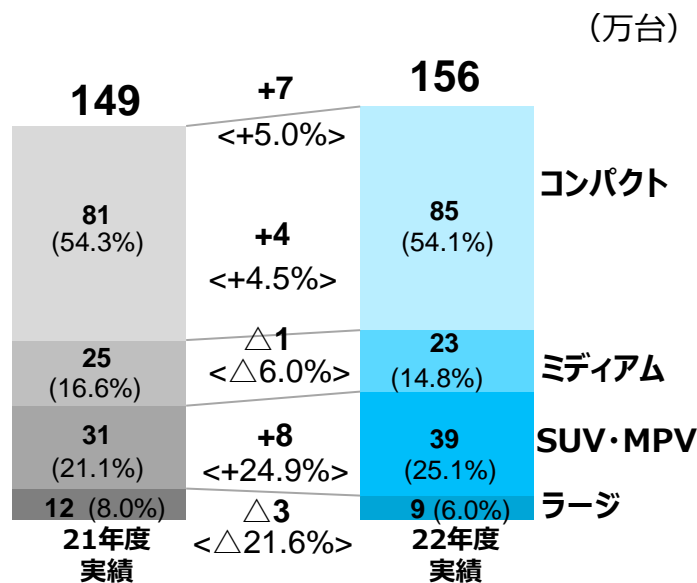
| | 21年度実績 | 22年度実績 | 増減 |
|-------|--------|--------|-----|
| 売上収益 | 3,177 | 3,887 | 709 |
| 営業利益 | 29 | △11 | △41 |
| 営業利益率 | 0.9% | △0.3% | - |

- ◆次に、北中南米ですが、
- ◆台数は、前期比5万台増加の126万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比709億円増加の3,887億円。
- ◆営業利益は、
増産効果や昨年度インフレ影響の客先回収はありましたが、
モデルチェンジや新車種立ち上がりに伴う諸経費の増加などにより
41億円減益の11億円の赤字となりました。

1-3) 2022年度 決算状況 中国 売上収益・営業利益

昨年度下期の新車投入等による増産効果や新製品効果などにより増益

台数・車種構成の変化



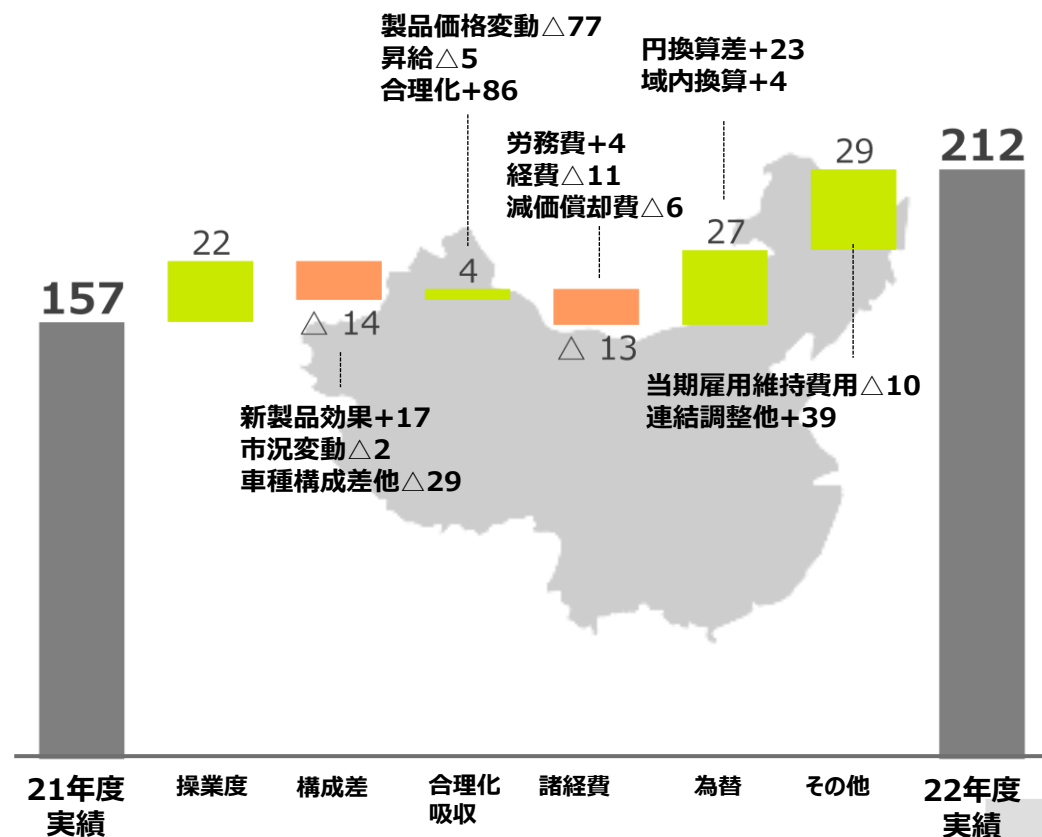
当期の経営成績

(億円)

| | 21年度実績 | 22年度実績 | 増減 |
|-------|--------|--------|-----|
| 売上収益 | 2,121 | 2,446 | 324 |
| 営業利益 | 157 | 212 | 54 |
| 営業利益率 | 7.4% | 8.7% | - |

営業利益の増減解析 (前期比)

(億円)

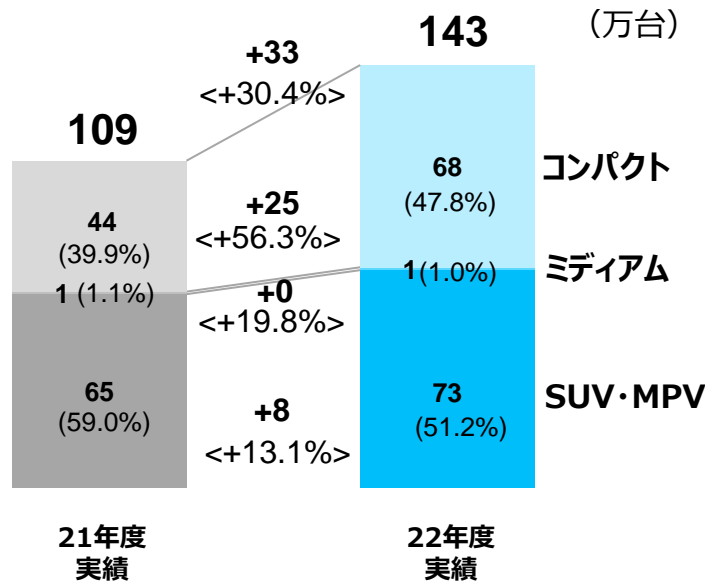


- ◆次に、中国ですが、
- ◆台数は、前期比7万台増加の156万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比324億円増加の2,446億円。
- ◆営業利益は、
昨年度下期に投入した新車種を含めた増産効果や
モデルチェンジに伴う新製品効果などにより、
54億円増益の212億円となりました。

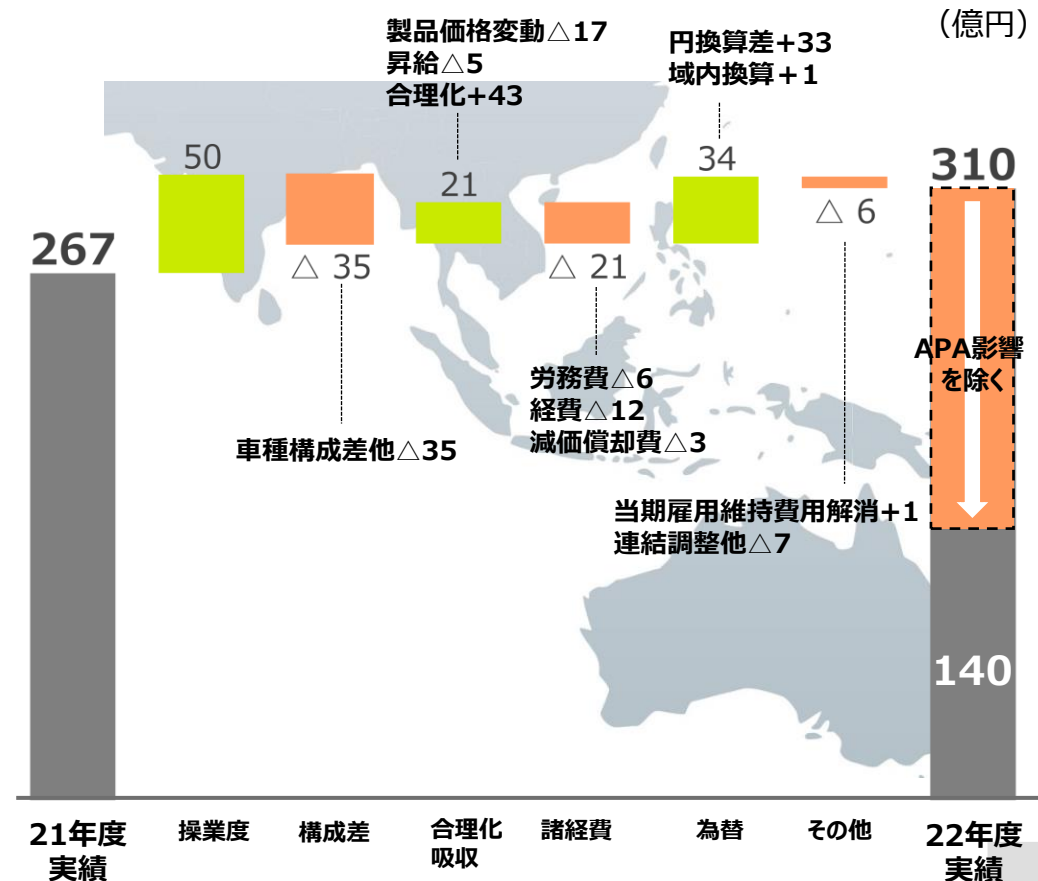
1-3) 2022年度 決算状況 アジア・中東 売上収益・営業利益

インド・インドネシア拡販等による増産効果や為替の影響などの増益はあるものの、移転価格税制調整金の影響により減益

台数・車種構成の変化



営業利益の増減解析 (前期比)



当期の経営成績

| | 21年度実績 | 22年度実績 | 増減 |
|-------|--------|--------|-------|
| 売上収益 | 1,904 | 2,496 | 591 |
| 営業利益 | 267 | 140 | △ 126 |
| 営業利益率 | 14.0% | 5.6% | - |

スクリプト

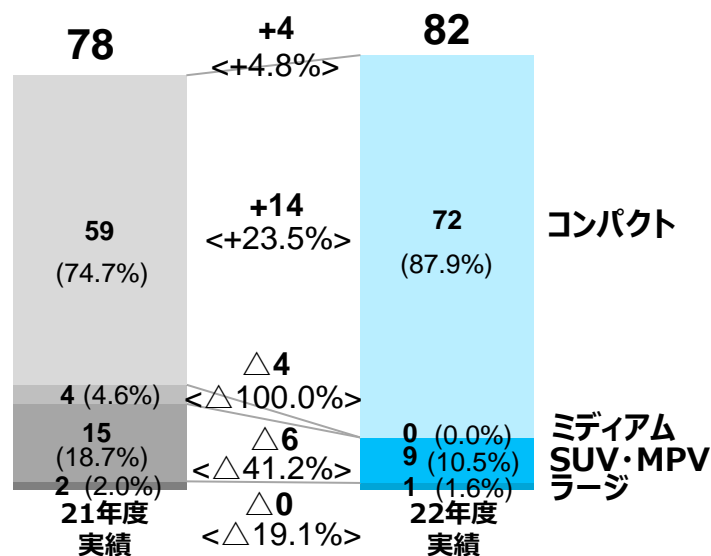
- ◆次に、アジア・オセアニアですが、
- ◆台数は、前期比33万台増加の143万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比591億円増加の2,496億円。
- ◆営業利益は、前期比126億円減益の140億円となりました。
- ◆移転価格税制調整金の影響を除いた
営業利益310億円との比較では、
インド・インドネシアでの拡販等による増産効果や
為替の影響などにより、増益となりました。

1-3) 2022年度 決算状況 欧州・アフリカ 売上収益・営業利益

ロシア事業を除き、増産効果や車種構成の変化などにより増益

台数・車種構成の変化

(万台)



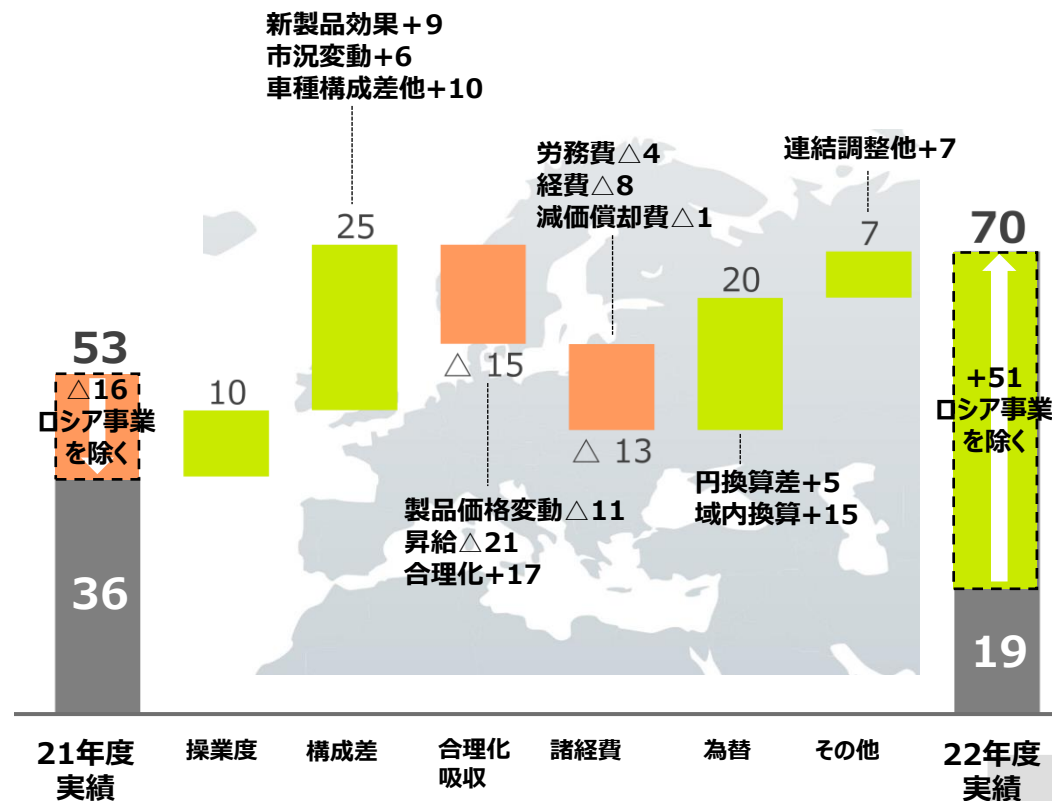
当期の経営成績

(億円)

| | 21年度実績 | 22年度実績 | 増減 |
|-------|--------|--------|------|
| 売上収益 | 962 | 1,082 | 120 |
| 営業利益 | 53 | 19 | △ 33 |
| 営業利益率 | 5.5% | 1.8% | - |

営業利益の増減解析 (前期比)

(億円)



スクリプト

- ◆次に、欧州・アフリカですが、
- ◆台数は、前期比4万台増加の82万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比120億円増加の1,082億円。
- ◆営業利益は、33億円減益の19億円となりましたが、ロシア事業を除いては、増産効果や車種構成の変化などにより増益となりました。

目次

1. 2022年度 決算状況

2. 2023年度 通期業績予想

3. 参考情報

◆続いて、2023年度の業績予想についてご説明いたします。

2-1) 2023年度 通期業績予想 連結決算概要

(億円)

| | 22年度 通期実績 | | 23年度 通期予想 | | 増減 | |
|-------|--------------|--------|--------------|--------|-----|-------|
| | 金額 | 比率 | 金額 | 比率 | 金額 | 比率 |
| 売上収益 | 16,040 | 100.0% | 16,800 | 100.0% | 759 | 4.7% |
| 営業利益 | 476 | 3.0% | 530 | 3.2% | 53 | 11.2% |
| 税引前利益 | 522 | 3.3% | 500 | 3.0% | △22 | △4.4% |
| 当期利益* | 146 | 0.9% | 220 | 1.3% | 73 | 49.9% |

*親会社の所有者に帰属する当期利益

| | | | | |
|-----------|------|--------|---------|------|
| 1株当たり当期利益 | | 78円57銭 | 117円75銭 | |
| 為替レート | USドル | 135円 | 125円 | △10円 |
| | 1-0 | 141円 | 135円 | △6円 |

売上収益

部品供給問題による減産リスクなどの不透明感が残る中、日本での増産やアジアでの拡販などにより増収となる見込み

営業利益

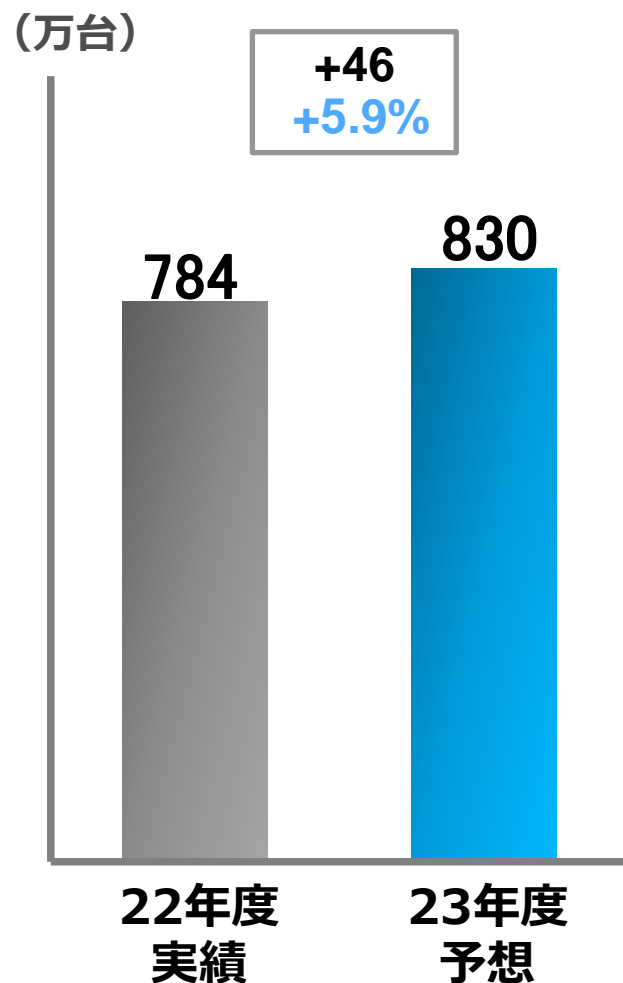
将来に向けた先行投資を含む諸経費の増加はあるものの、増産効果や新製品効果などにより増益の見込み

スクリプト

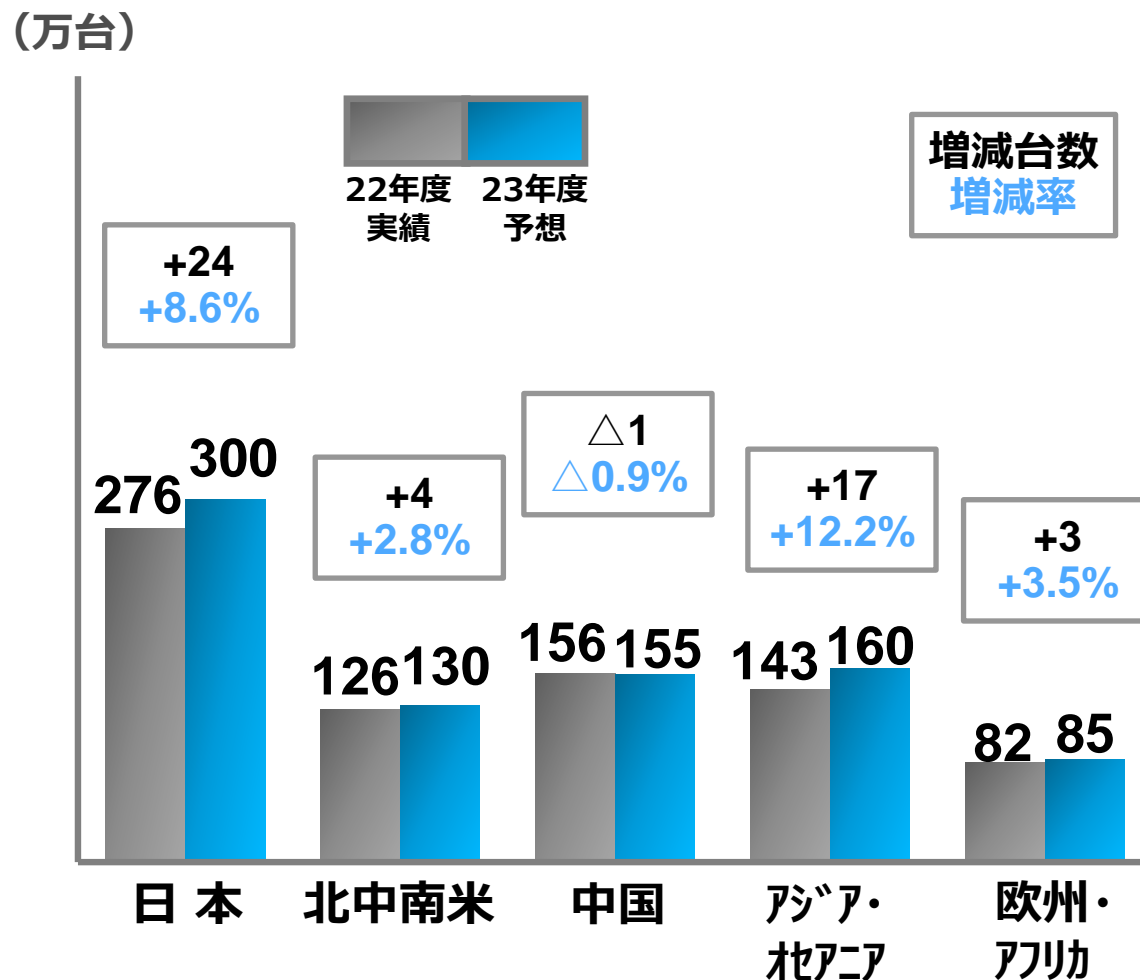
- ◆売上収益は、前期比759億円増加の1兆6,800億円と予想しております。
- ◆営業利益は、前期比53億円増益の530億円。
- ◆税引前利益は、前期比22億円減益の500億円。
- ◆親会社の所有者に帰属する当期利益は、前期比73億円増益の220億円をそれぞれ予想しております。
- ◆為替レートは、1ドル125円、1ユーロ135円を前提としております。

2-2) 2023年度 通期業績予想 地域別シート生産台数

連結全体



セグメント別



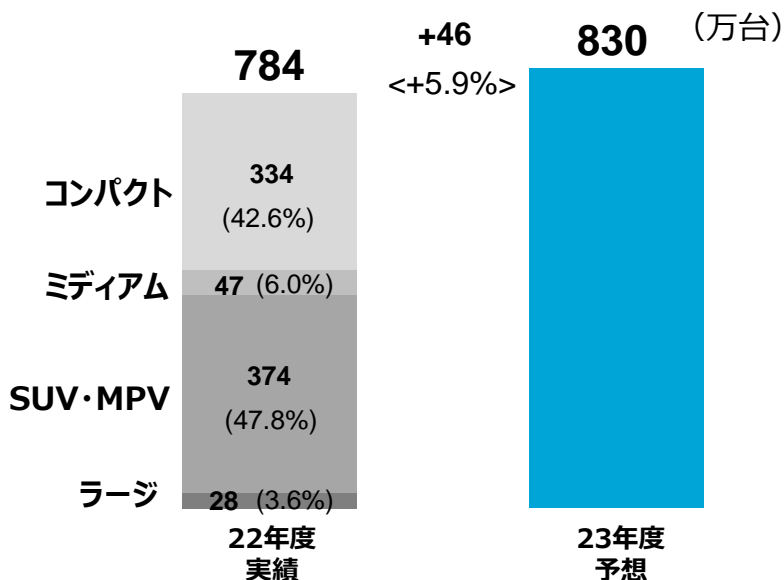
- ◆次に、シート生産台数ですが、
連結全体では、前期比46万台増加の830万台と
予想しております。

- ◆地域別は、ご覧の通りとなっておりますが、
詳細は、地域別のページにてご説明いたします。

2-3) 2023年度 通期業績予想 連結 売上収益・営業利益

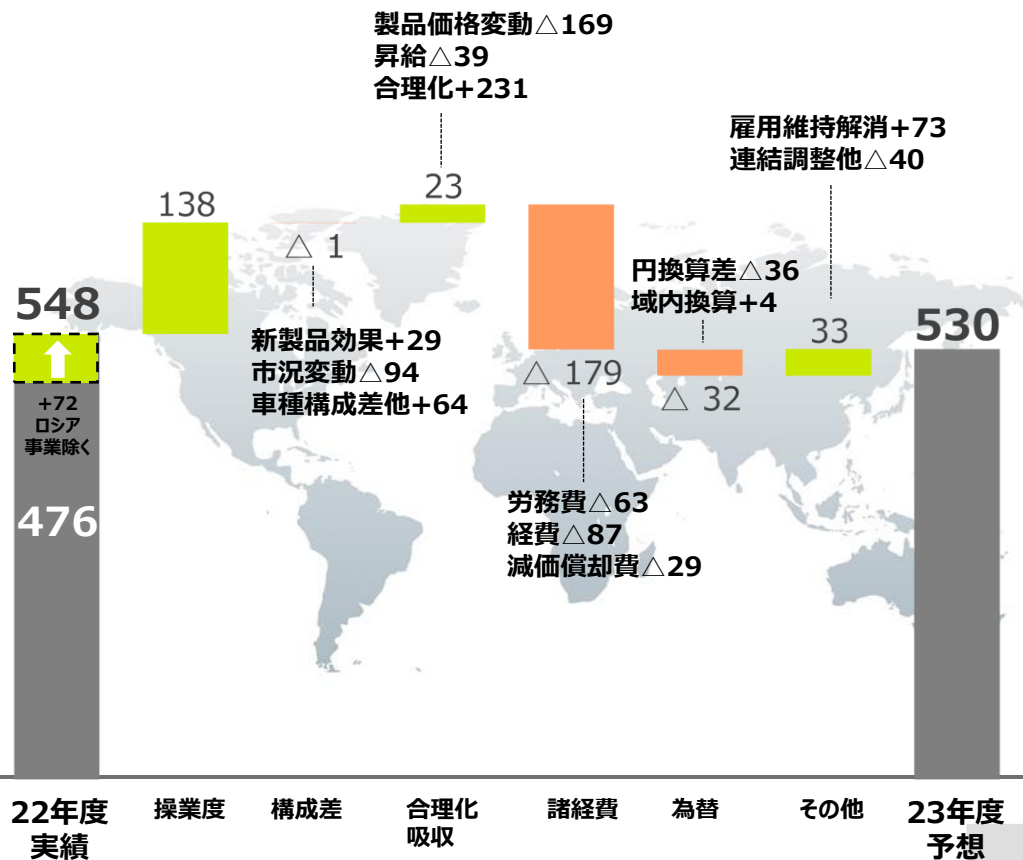
将来に向けた先行投資を含む諸経費の増加はあるものの、
ロシア事業を除いた前年度レベルの営業利益を確保できる見込み

台数・車種構成の変化



営業利益の増減解析 (前期比)

(億円)



当期の経営成績

(億円)

| | 22年度実績 | 23年度予想 | 増減 |
|-------|--------|--------|-----|
| 売上収益 | 16,040 | 16,800 | 759 |
| 営業利益 | 476 | 530 | 53 |
| 営業利益率 | 3.0% | 3.2% | - |

スクリプト

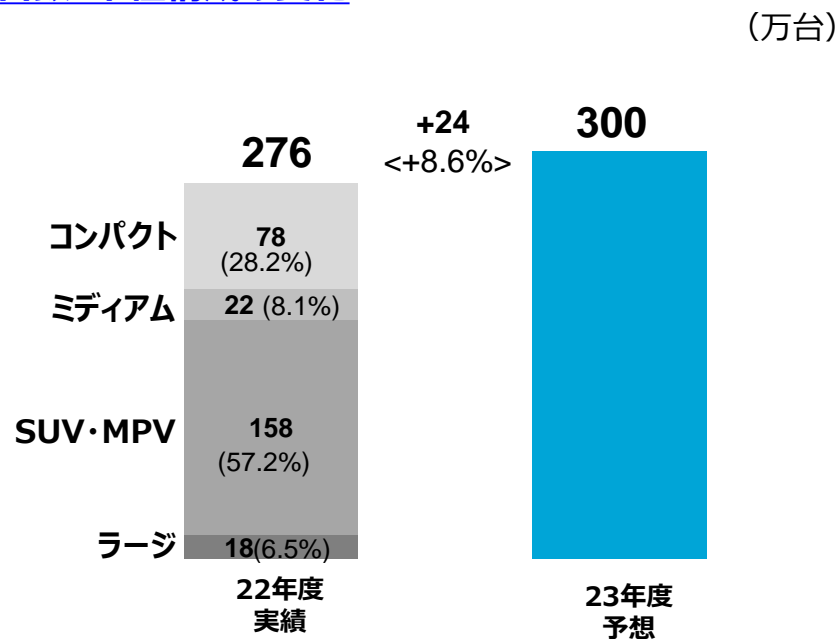
- ◆次に、連結の売上収益・営業利益についてご説明いたします。
- ◆台数は前期比46万台増加の830万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比759億円増加の1兆6,800億円。
- ◆営業利益は、
将来に向けた先行投資を含む諸経費の増加などはありませんが、
ロシア事業を除いた前年度レベルの営業利益を確保できる
見込みでございます。

2-4) 2023年度 通期業績予想 地域別 売上収益・営業利益

日本

増産効果などの増益はあるものの、
諸経費の増加に加え前年度移転価格税制
調整金の影響により減益の見込み

台数・車種構成の変化



当期の経営成績

(億円)

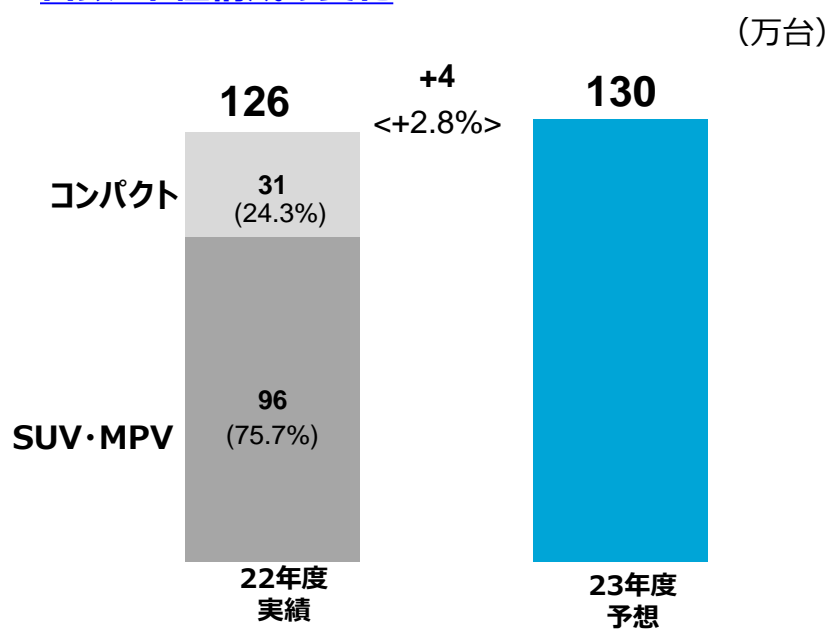
| | 22年度実績 | 23年度予想 | 増減 |
|-------|-----------|---------|-------|
| 売上収益 | 7,329 | 8,300 | 970 |
| 営業利益 | (△54) 116 | 15 (69) | △ 101 |
| 営業利益率 | 1.6% | 0.2% | - |

()内 APA除き

北中南米

市況高騰影響などの減益はあるものの、
新車投入等による増産効果や
新製品効果などにより増益の見込み

台数・車種構成の変化



当期の経営成績

(億円)

| | 22年度実績 | 23年度予想 | 増減 |
|-------|--------|--------|------|
| 売上収益 | 3,887 | 3,800 | △ 87 |
| 営業利益 | △ 11 | 25 | 36 |
| 営業利益率 | △ 0.3% | 0.7% | - |

スクリプト

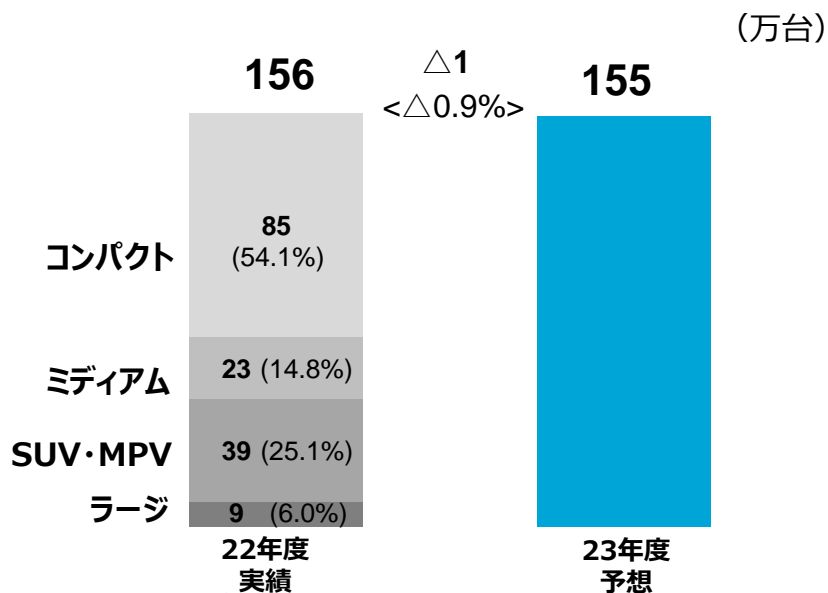
- ◆次に、地域別の業績予想をご説明いたします。
- ◆まず日本ですが、
台数は、前期比24万台増加の300万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比970億円増加の8,300億円。
- ◆営業利益は、前年度 移転価格税制調整金の影響を除きますと、
諸経費の増加などではありますが増産効果などにより、
69億円増益の15億円となる見込みです。
- ◆次に、北中南米ですが、
台数は、前期比4万台増加の130万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比87億円減少の3,800億円。
- ◆営業利益は、市況高騰影響などの減益はありますが、
新車投入等による増産効果や新製品効果などにより
36億円増益の25億円となる見込みです。

2-4) 2023年度 通期業績予想 地域別 売上収益・営業利益

中国

市場の変化に伴う台数の伸び悩みに加え、生準費などによる諸経費の増加や為替の影響などにより減益の見込み

台数・車種構成の変化



当期の経営成績

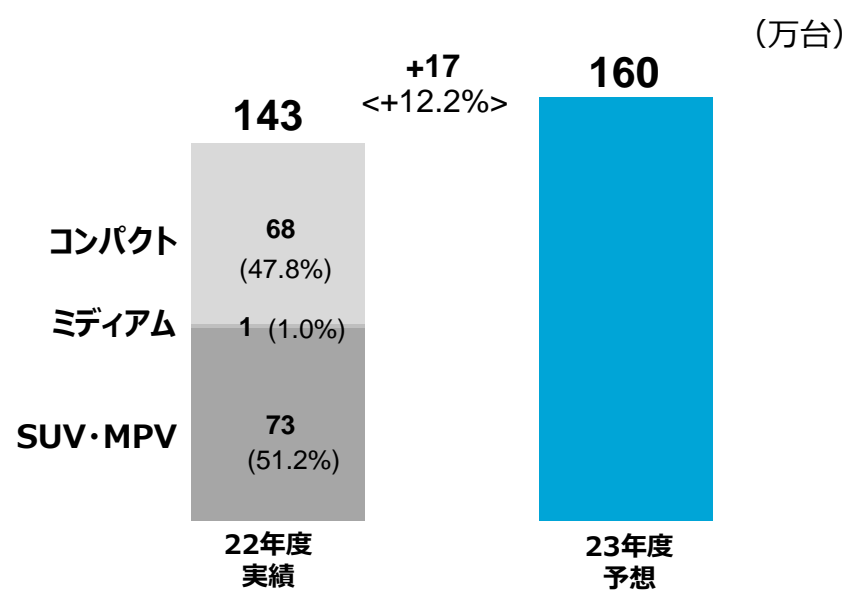
| | 22年度実績 | 23年度予想 | 増減 |
|-------|--------|--------|------|
| 売上収益 | 2,446 | 2,200 | △246 |
| 営業利益 | 212 | 160 | △52 |
| 営業利益率 | 8.7% | 7.3% | - |

(億円)

アジア・セアニア

インド・インドネシアでの拡販等による増産効果に加え、前年度移転価格税制調整金の影響などにより増益の見込み

台数・車種構成の変化



当期の経営成績

| | 22年度実績 | 23年度予想 | 増減 |
|-------|-----------|--------|--------------------|
| 売上収益 | 2,496 | 2,500 | 3 |
| 営業利益 | (310) 140 | 290 | (△20) 149 (内APA除き) |
| 営業利益率 | 5.6% | 11.6% | - |

(億円)

スクリプト

- ◆次に、中国ですが、

 - 台数は、前期比1万台減少の155万台となる見通しです。

- ◆売上収益は、前期比246億円減少の2,200億円。

- ◆営業利益は、市場の変化に伴う台数の伸び悩みに加え、生準費など諸経費の増加や為替の影響などにより前期比52億円減益の160億円となる見込みです。

- ◆次に、アジア・オセアニアですが、

 - 台数は、前期比17万台増加の160万台となる見通しです。

- ◆売上収益は、前期比3億円増加の2,500億円。

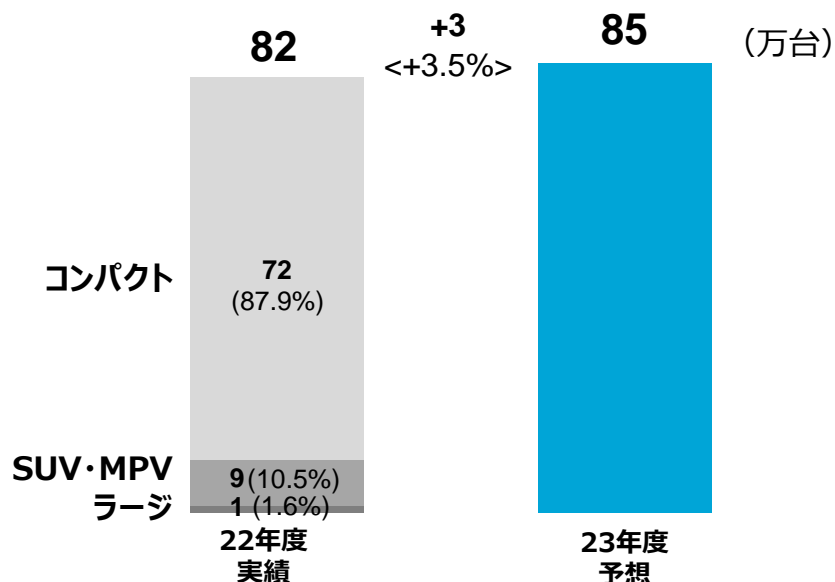
- ◆営業利益は、前年度 移転価格税制調整金の影響を除きますと、インド・インドネシアでの拡販等による増産効果はありますが、為替の影響などにより、前期比20億円減益の290億円となる見込みです。

2-4) 2023年度 通期業績予想 地域別 売上収益・営業利益

欧州・アフリカ

市況高騰影響や諸経費の増加などの減益はあるものの、増産効果に加え前年度ロシア事業の影響により増益の見込み

台数・車種構成の変化



当期の経営成績

(億円)

| | 22年度実績 | 23年度予想 | 増減 |
|-------|---------|--------|----------|
| 売上収益 | 1,082 | 1,100 | 17 |
| 営業利益 | (70) 19 | 40 | (△30) 20 |
| 営業利益率 | 1.8% | 3.6% | - |

()内 ロシア除き

スクリプト

- ◆次に、欧州・アフリカですが、
台数は、前期比3万台増加の85万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比17億円増加の1,100億円。
- ◆営業利益は、前年度 ロシア事業を除きますと、
市況高騰影響や諸経費の増加などにより
前期比30億円減益の40億円となる見込みです。

2-5) 2023年度 通期業績予想 地域別・上下別

売上収益

(億円)

| | 上期 | 下期 | 通期 |
|-----------|-------|-------|--------|
| 日本 | 4,100 | 4,200 | 8,300 |
| 北中南米 | 1,900 | 1,900 | 3,800 |
| 中国 | 1,200 | 1,000 | 2,200 |
| アジア・オセアニア | 1,200 | 1,300 | 2,500 |
| 欧州・アフリカ | 550 | 550 | 1,100 |
| 連結全体 | 8,400 | 8,400 | 16,800 |

営業利益

(億円)

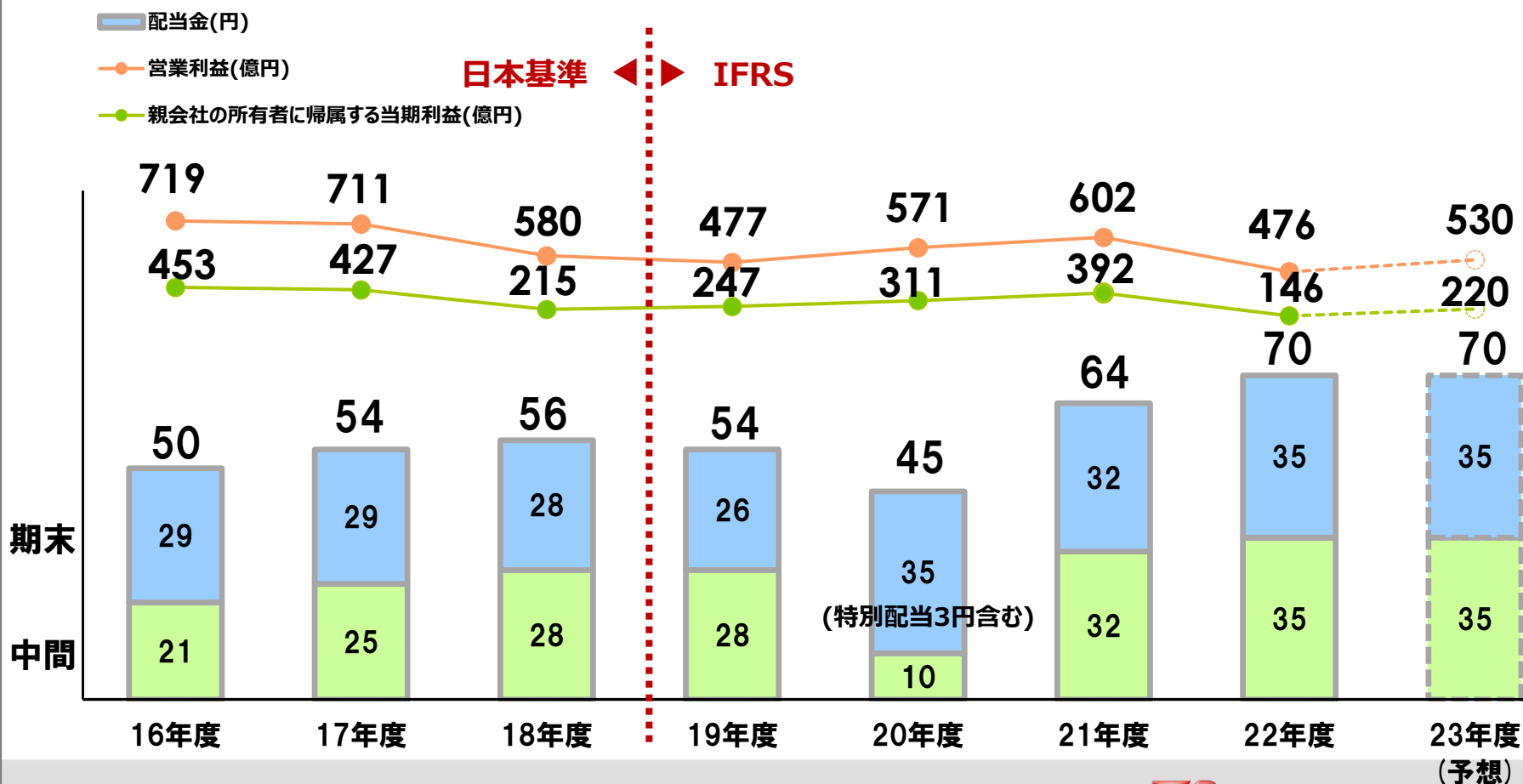
| | 上期 | | 下期 | | 通期 | |
|-----------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|
| 日本 | △20 | △0.5% | 35 | 0.8% | 15 | 0.2% |
| 北中南米 | △5 | △0.3% | 30 | 1.6% | 25 | 0.7% |
| 中国 | 90 | 7.5% | 70 | 7.0% | 160 | 7.3% |
| アジア・オセアニア | 130 | 10.8% | 160 | 12.3% | 290 | 11.6% |
| 欧州・アフリカ | 10 | 1.8% | 30 | 5.5% | 40 | 3.6% |
| 連結全体 | 205 | 2.4% | 325 | 3.9% | 530 | 3.2% |

- ◆なお、上期・下期の売上収益・営業利益につきましてはご覧いただいた通りです。

2-6) 2023年度 通期業績予想 株主還元

- 22年度は、前回公表と同額の70円を維持
- 23年度も年間70円を予定、今後の連結業績などを総合的に勘案し決定

配当金および営業利益、当期利益の推移



スクリプト

- ◆次に、配当金でございますが、22年度につきましては、当期利益の減少はございますが、営業利益が前回公表時より増益となったことなどを総合的に勘案し、前回公表同様の年間70円。
- ◆23年度につきましては、前年と同額の年間70円とさせていただきます。
- ◆今後、長期安定的な配当継続の観点などから、連結業績などを総合的に勘案し決定してまいります。

【22年度】

- ・ **全社を挙げた収益確保策の実施**に加え
営業努力など**更なる利益上積み**が**実現**したことにより
前回公表時を上回る営業利益を確保

【23年度】

- ・ 部品供給問題や車種構成の変化が継続するなど、
厳しい前提での期初予想とする中、新規OEM対応や競争力強化など
将来に向けた先行投資は着実に実施
- ・ **他社販や新製品効果**に加え、**自動車用シート骨格機構部品の**
生産移管および商権移管など、収益力向上への取り組みを
着実に進めることで、**収益の最大化**を図る

スクリプト

- ◆最後に、2022年度期末決算を総括させていただきます。
- ◆22年度におきましては、グローバルでの部品供給問題等による需要変動や、材料費高騰影響など外部環境変化による減益要因はありましたが、全社を挙げた収益確保策の実施に加え、営業努力など更なる利益上積みが実現したことにより前回公表時を上回る営業利益となりました。
- ◆23年度につきましては、部品供給問題や車種構成の変化など、厳しい外部環境を前提とした業績予想となっておりますが、新規OEM対応や競争力強化など将来に向けた先行投資は着実に実施して参ります。加えて、インド・インドネシアでの他社販や、自動車用シート骨格機構部品の生産移管および商権移管など、収益力向上への取り組みを着実に進めることで、収益の最大化を図って参ります。

スクリプト

- ◆以上をもちまして、2022年度 期末の決算説明を終了させていただきます。ありがとうございました。

目次

1. 2022年度 決算状況

2. 2023年度 通期業績予想

3. 参考情報

参考1) 連結財政状態計算書の状況(23/3末)

○ : 対前年度末比(億円)

流動資産

6,143億円

6,562億円

・営業債権並びに
棚卸資産等の増加

+419

負債

5,409億円

5,704億円

・営業債務並びに
借入金等の増加

+295

資産

10,073億円

(前年度末9,647億円)

非流動資産

3,504億円

3,511億円

+6

資本

4,238億円

4,368億円

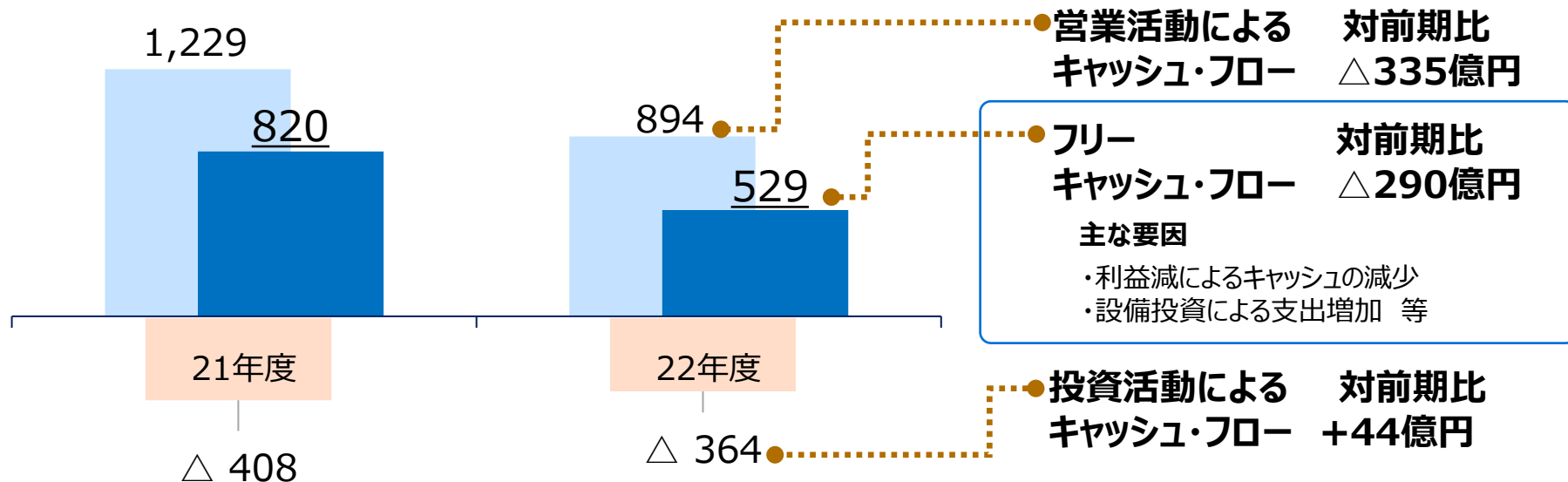
+130

親会社所有者
帰属持分比率

40.0%

39.8%

参考2) 連結キャッシュフローの状況

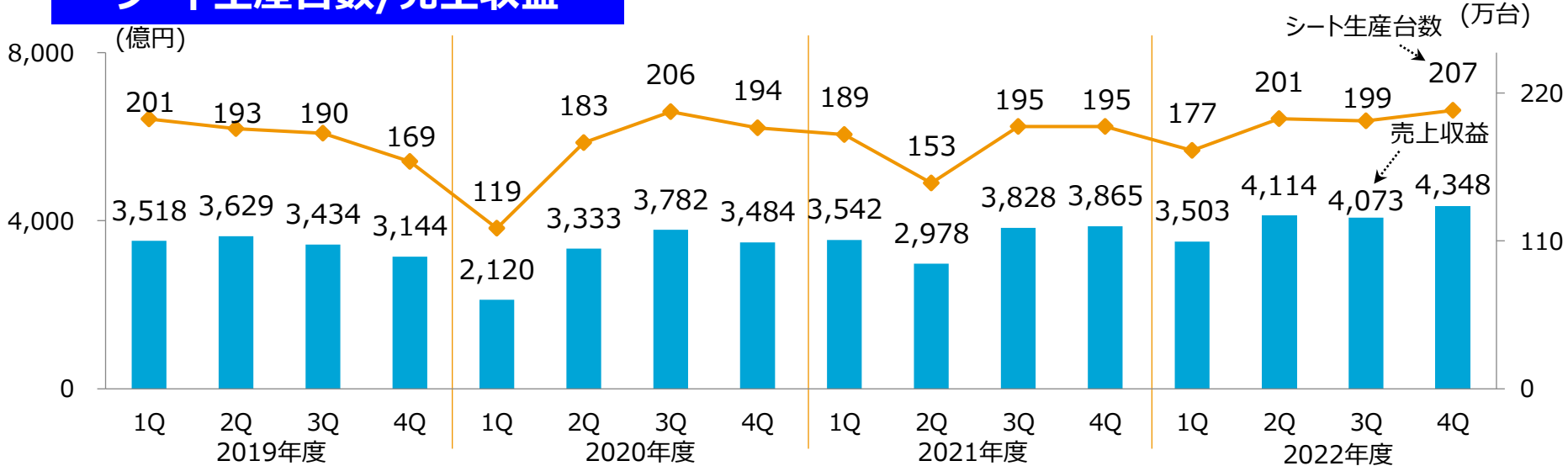


(億円)

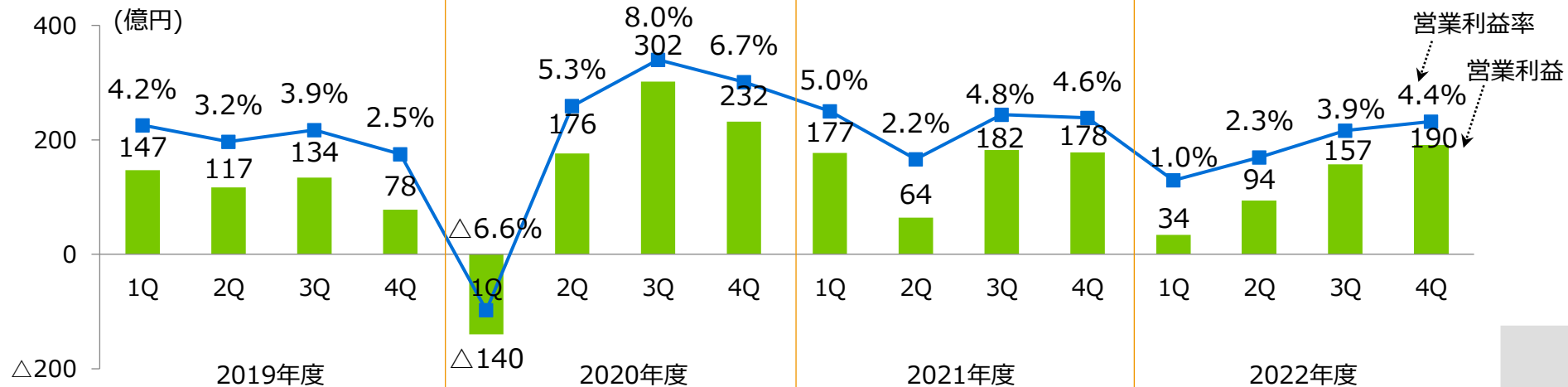
| | 21年度 | 22年度 | 増減 |
|------------------|--------------|--------------|--------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,229 | 894 | Δ 335 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | Δ 408 | Δ 364 | 44 |
| フリーキャッシュ・フロー | 820 | 529 | Δ 290 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | Δ 486 | Δ 408 | 78 |
| 為替変動による影響額 | 93 | Δ 19 | Δ 113 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 427 | 102 | Δ 325 |
| 現金及び現金同等物の残高 | 2,379 | 2,481 | 102 |

参考3) 四半期推移 連結 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

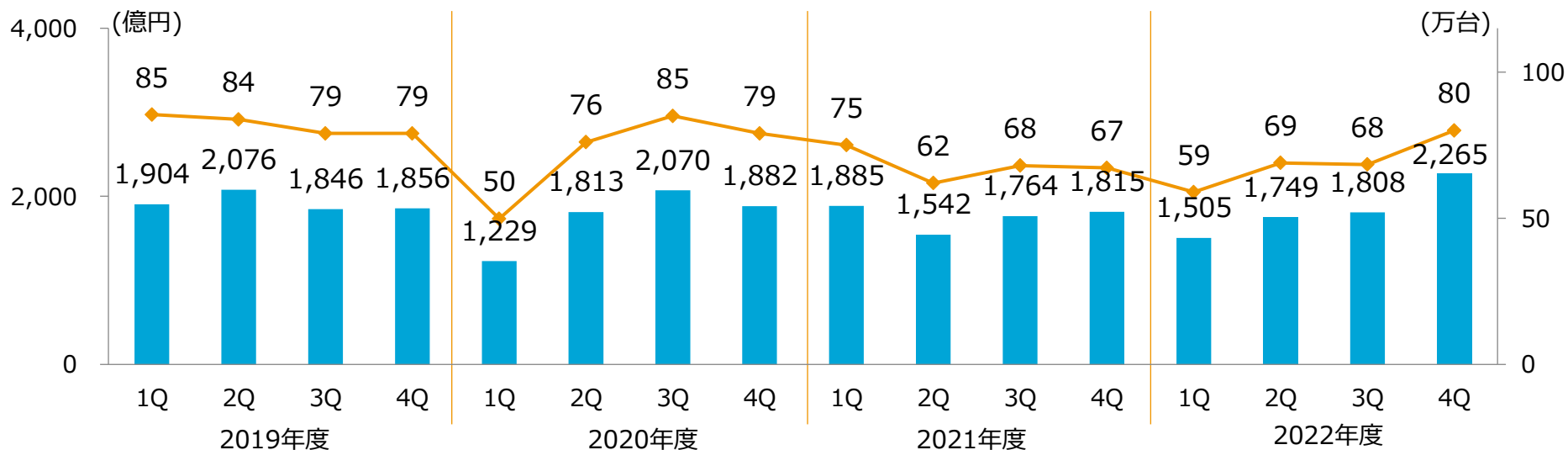


営業利益/営業利益率

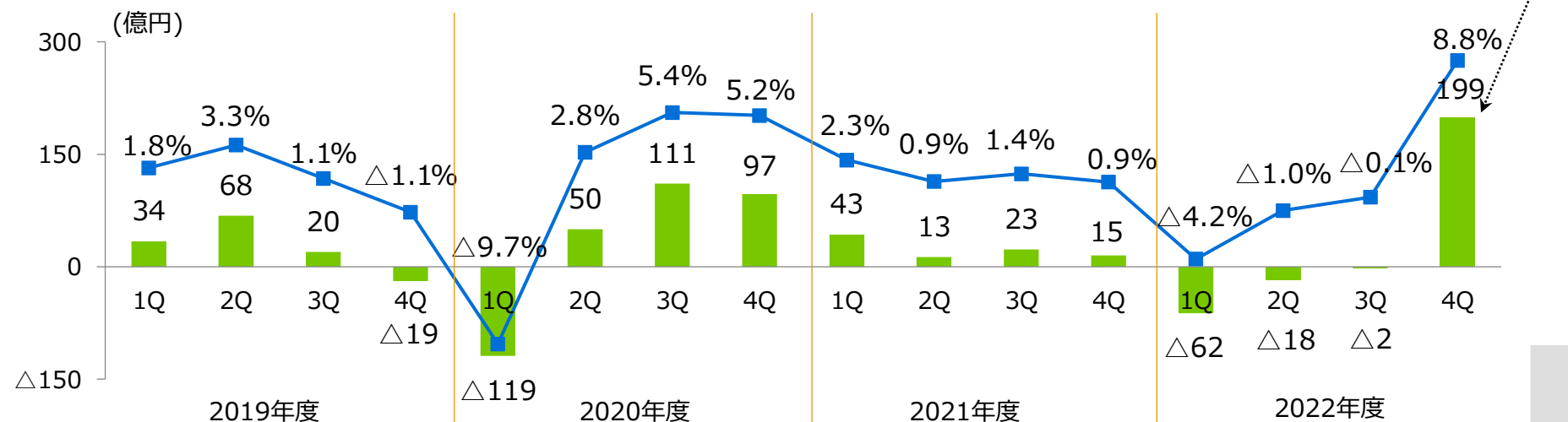


参考4) 四半期推移 日本 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

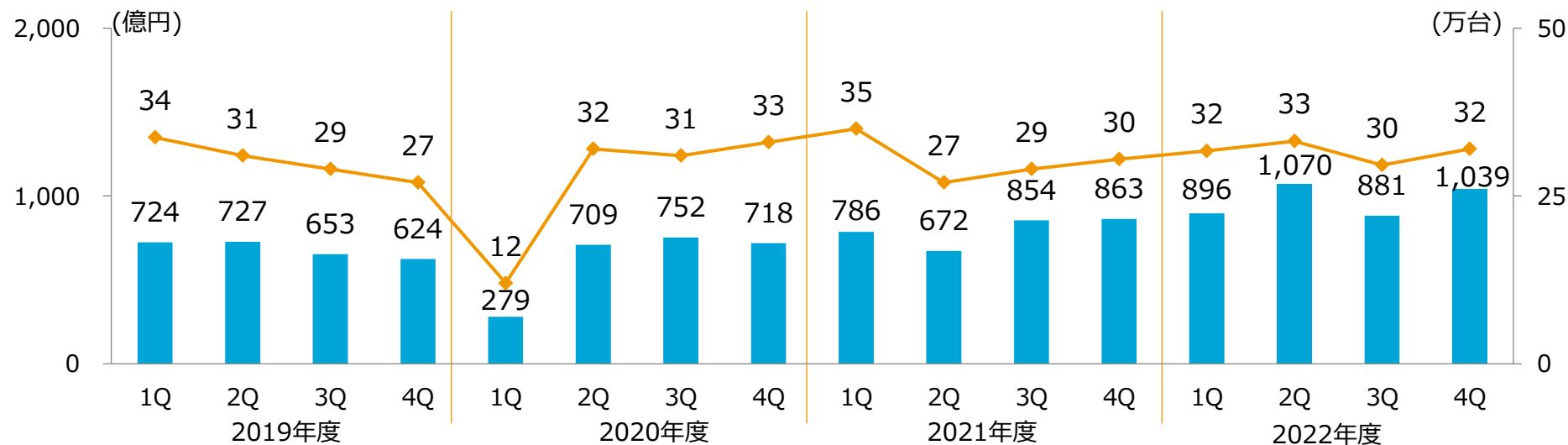


営業利益/営業利益率

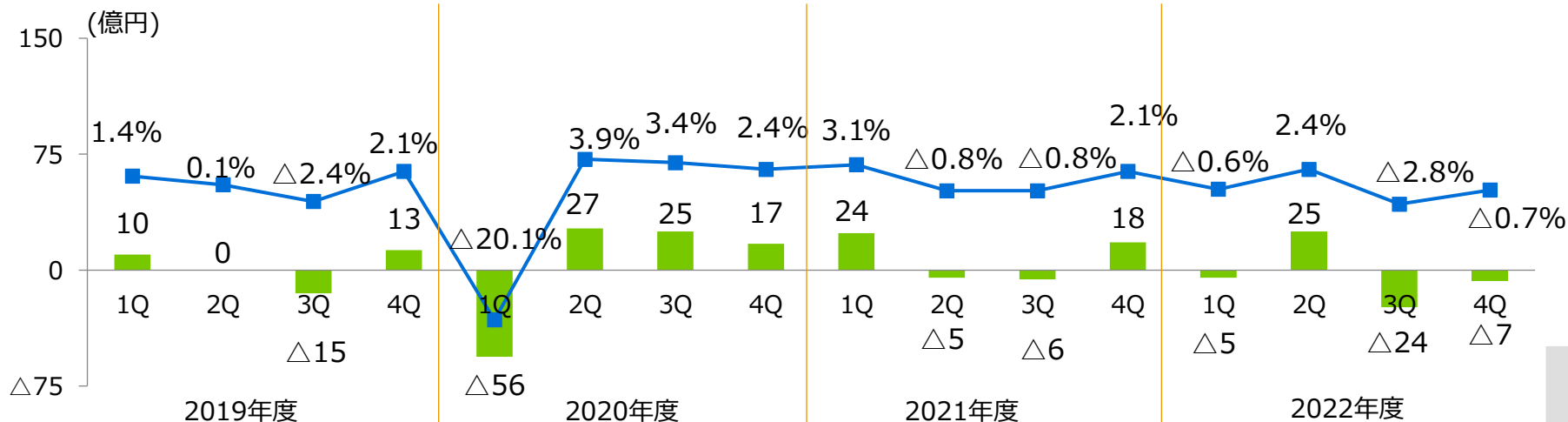


参考5) 四半期推移 北中南米 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

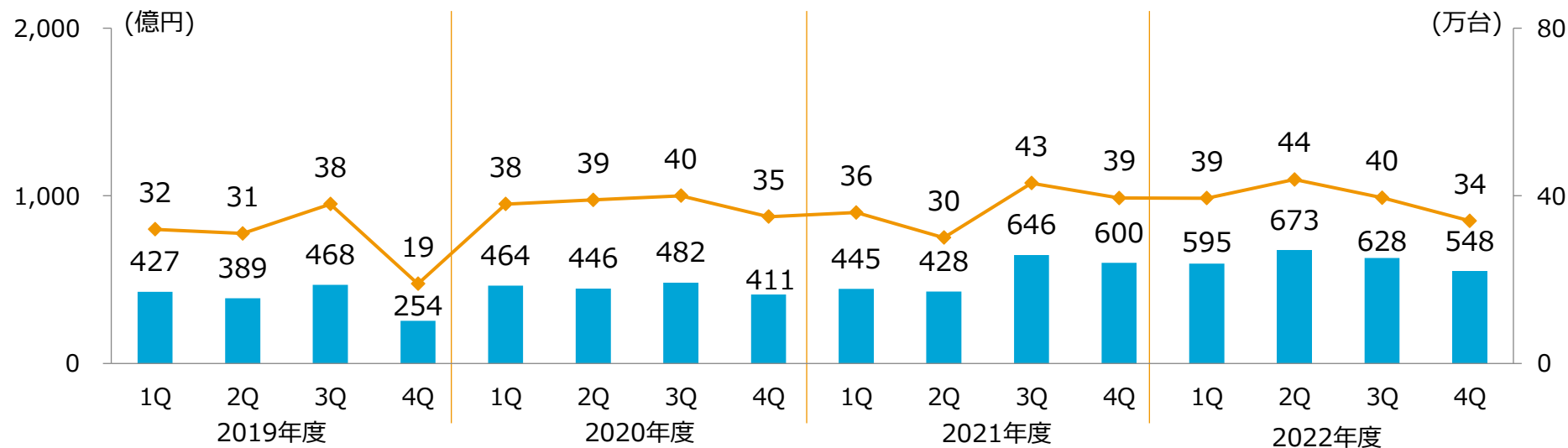


営業利益/営業利益率

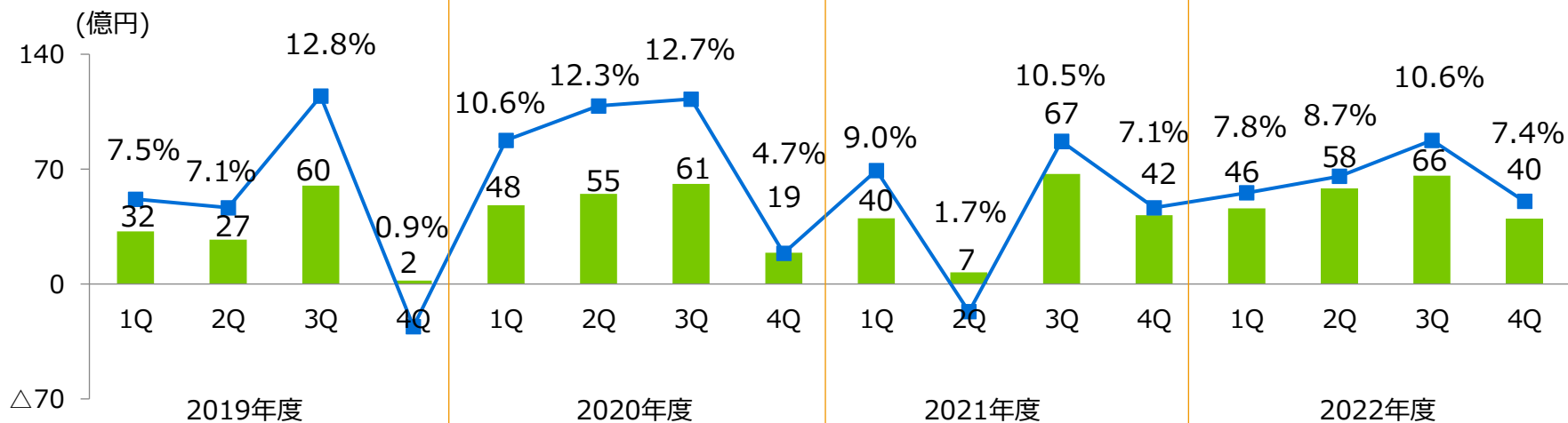


参考6) 四半期推移 中国 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

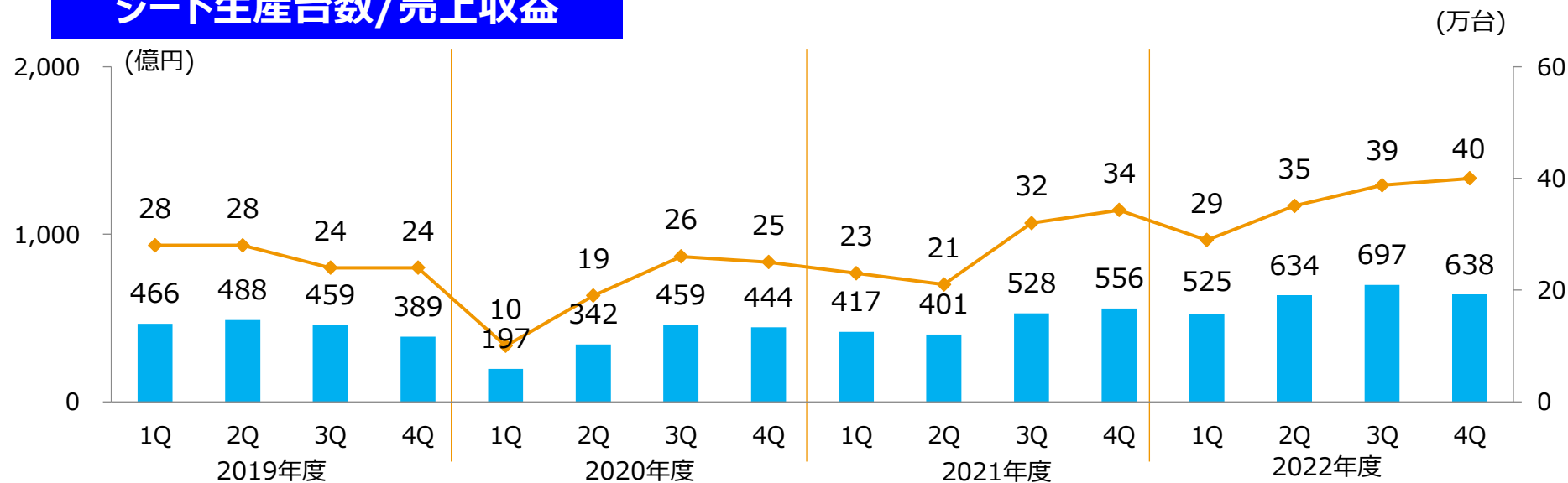


営業利益/営業利益率

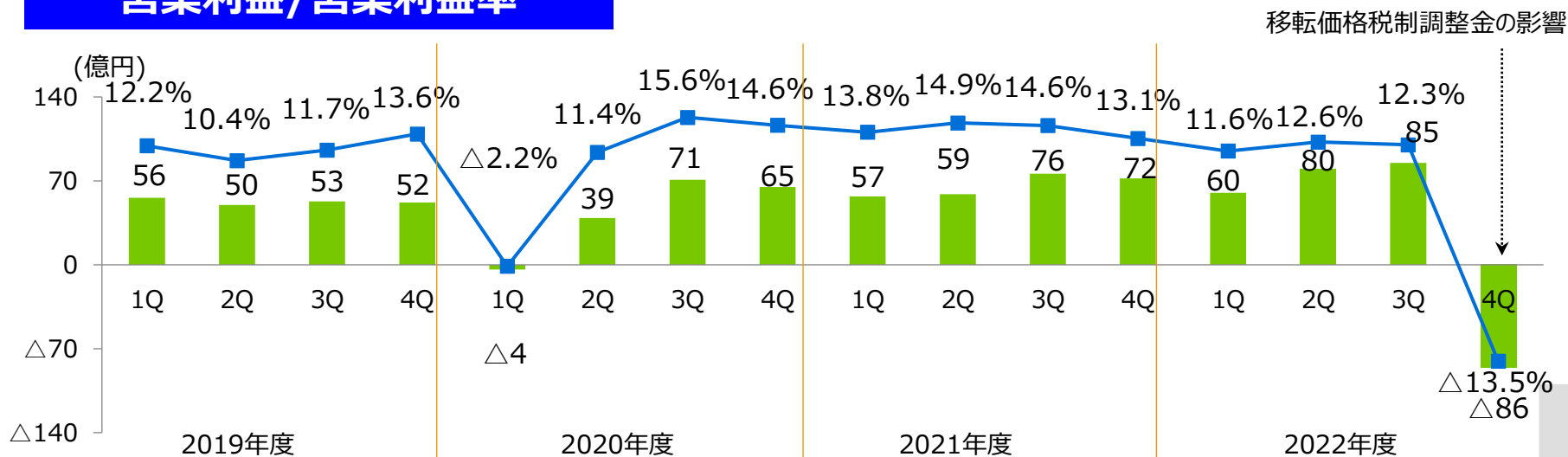


参考7) 四半期推移 アジア・北アフリカ 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

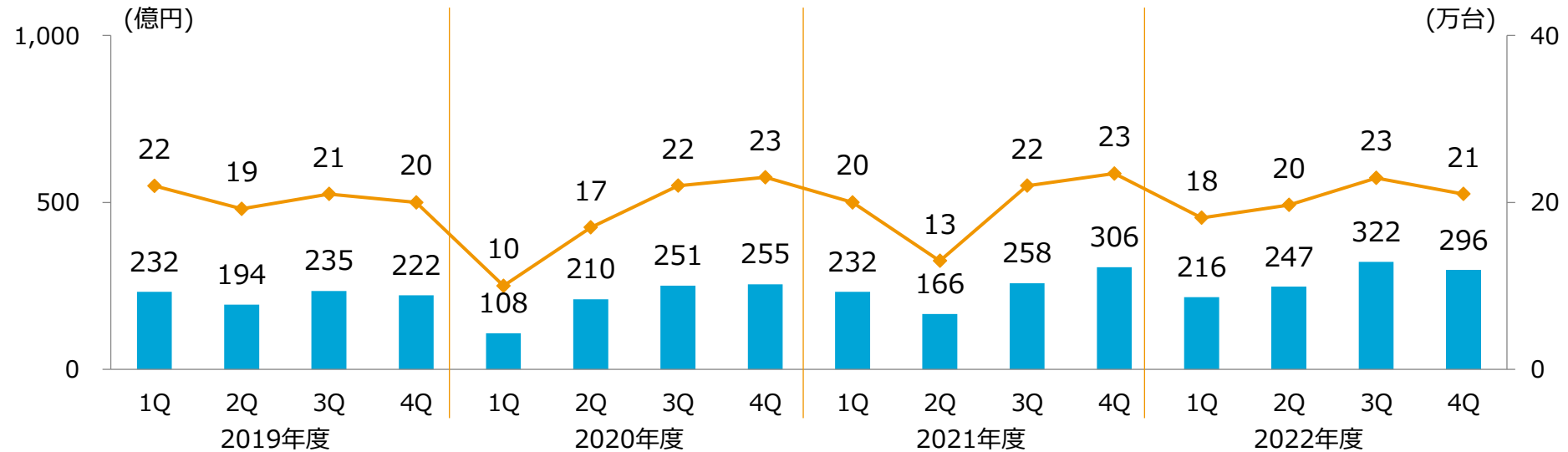


営業利益/営業利益率

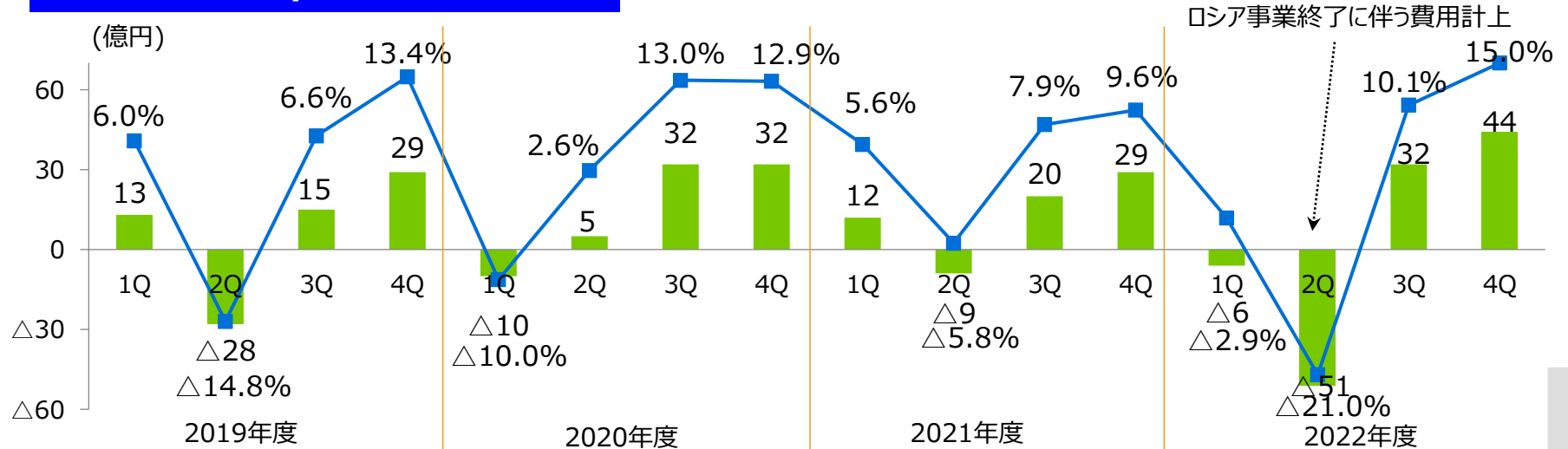


参考8) 四半期推移 欧州・アフリカ 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益



営業利益/営業利益率





<注意事項>

本資料に記載されている将来に関する業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想値であり、不確実性やリスクを含んでおります。

そのため 実際の結果は様々な要因によって業績予想と異なる可能性があります。